



東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究センター(DESK)シンポジウム

ベルリンの壁崩壊30年 — 変わりゆくドイツの現在

日時

2019年11月16日(土)
14:00~17:00 (開場: 13:30)

会場

学際交流ホール

(東京大学駒場 I キャンパス
アドミニストレーション棟3F)



日独同時通訳付
参加無料
事前申込不要

基調講演

ウルリヒ・ヘルベルト

Prof. Dr. Ulrich Herbert

(ドイツ・フライブルク大学名誉教授)

Nach dem Mauerfall. Deutsche

Zeitgeschichte nach 1989 (ベルリンの壁崩壊の後で—ドイツ現代史研究の視点から)

パネル・ディスカッション

パネリスト:

福永美和子

(大東文化大学外国語学部専任講師)

平松英人

(東京大学大学院総合文化研究科助教)

石田勇治

(東京大学大学院総合文化研究科教授)

司会:

川喜田敦子

(中央大学文学部教授)

主催:

東京大学大学院総合文化研究科付属
グローバル地域研究機構

ドイツ・ヨーロッパ研究センター(DESK)

後援:

ドイツ学術交流会(DAAD)

DESK
東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究センター

DAAD

Deutscher Akademischer Austauschdienst
German Academic Exchange Service



Auswärtiges Amt